

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・乗客数が前年比で105%と課題は残るが、売上が前年比で115%と好調である。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・客の来店が多くなっている。
	やや良く なっている	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・競合店がリニューアルのため、閉店中ということもあり、業績が伸びている。
		家電量販店（経営者）	来客数の動き	・エコポイント施策による需要の押し上げ効果がある。
	変わらない	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・3か月前に比べたら来客数が若干上向きになっている。
		通信会社（経営者）	販売量の動き	・官公庁や外郭団体等からの発注数が如実に伸びており、一般企業も広報予算の動きが出てきている。全体的にやや上昇している。
		設計事務所（所長）	来客数の動き	・少しではあるが問い合わせが増えてきている。多少動きが出てきている。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・若干ではあるが契約件数が増え、売上高も増えている。
		商店街（代表者）	単価の動き	・エコポイントが定着したのでテレビがよく売れている。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・今月は体育の日や市をあげての祭りがあり、町中がにぎやかになったが、当日のみで、あとは静かである。懐も疲れ、財布のひもは固くなっている。
	変わらない	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・消費者の必要なものへの購買意欲は出てきている。地上デジタル放送のエコポイント絡みで、液晶テレビ等の動きは出ているが、他の商品への関心は相変わらず見られない。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・客は相変わらず慎重に商品を見ており、余計なものは買わず、必要なもの以外は買いたくない。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・9月の大型連休までは秋冬物の衣料品の動きが良かったが、9月末～10月に掛けてまた衣料品全般の消費が低迷している。特に、月初めの台風の影響があり、数字が大変悪くなっている。ただし、食品、物産展だけは好調に推移している傾向はある。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・顧客向けの優待販売会や、ハウスカード会員向けのポイントアップ等に対する集客はある程度見込んでいるが、引き続き客単価の低下が目立ち、売上確保には至っていない。特に、衣料品は厳しい状況が続いている。
スーパー（経営者）		単価の動き	・単価の下落が続いている。	
スーパー（総務担当）		販売量の動き	・衣料品については今までに無く良かったが、食品については下降気味で、トータルではほぼ横ばいである。	
スーパー（統括）		来客数の動き	・食品は会員限定優待の大型セールでの価格訴求に対する反応が非常に敏感で、来客数、客単価、買上点数共に大きく前年を上回り、衝動買い等も見られるが、普段の買物はメモを持つての儉約志向が相変わらず強く、来店頻度も少ない。衣料品売場は来客数、単価の低下傾向に歯止めが掛からない。	
衣料品専門店（店長）		単価の動き	・購買客数はやや減ったが、客単価は上がっている。	
変わらない	家電量販店（店長）	それ以外	・昨年の米国の大手金融機関の破たん、金融危機から一巡しての数値であるため、前年比では良く感じるが絶対額では気を緩められない。	
	家電量販店（営業担当）	お客様の様子	・製造業の注文が伸びていない。	
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・減税、補助金制度の販売効果も頭打ち感がある。	
	乗用車販売店（販売担当）	単価の動き	・今月当店がリニューアルオープンということでオープンイベントを開催したが、大きな車は全く売れず、単価の安い車しか売れない。付随してオイル交換を500円で実施したところ、そのイベントには多数の客が訪れた。	

乗用車販売店 (販売担当)	単価の動き	・エコカー減税等で輸入車関係が売れないので、単価を極端に落としたり、低年式の安い中古車の販売を始めた。単価が安いのでそれなりに出ることには出るが、全く利益にはつながらない。景気が上向きにならない限りは高額な中古車や輸入車の新車は出ない。今は単価の安い車を売ってなんとか営業している。
自動車備品販売店 (経営者)	販売量の動き	・販売に関しては、販売需要の多い時期に来ているにもかかわらず、客の方の購買意欲がないせいか、なかなか成約に結び付かない。
住関連専門店 (仕入担当)	単価の動き	・ペット関連の特別催事を行ったが、販促経費の割に来客数が伸びず、平均単価も下落しており、厳しい状況は変わらない。
一般レストラン (経営者)	単価の動き	・客単価が以前より300円ほど下落している。
一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・景気の悪さ、雇用不安等の外部要因から夜の集客が非常に悪い。また、宴会の集客も悪い。
観光型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・景気回復の兆しが見えてきたとの報道もあるが、実質的には景気低迷のままで変化がない。
観光型ホテル (営業担当)	来客数の動き	・夏前から来客数が増加し、半期でも前年を上回っている。9月の大型連休からの紅葉シーズンの混雑は、平成の初めのころを思い起こす状況であったが、売上と利益はその割に増えていない。
都市型ホテル (支配人)	お客様の様子	・相変わらず個人の動きは悪いが、団体、特にセミナーや会議等は少し動いてきている。
都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・例年のイベントでの宿泊、レセプション、会議関係のリピーターがなんとか受注できたが、宿泊に関しては法人利用客が依然低迷している状況である。
都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・いろいろな大会や観光シーズンに当たり、10月は多少入込みが多いということも昨年と変わらない。
旅行代理店(従業員)	来客数の動き	・午前中の来客数はほとんど無く、昼過ぎから夕方に掛けては前年並みの来客数があるが、1日通しての来客数は前年ほどない。
旅行代理店(副支店長)	お客様の様子	・新型インフルエンザの影響が出ているため、個人、グループ、団体旅行の取消しがでていたり、個人や家族旅行の受注件数が伸びない。企業では輸出や海外工場があるところではいまだ苦戦しているようで、出張はもちろん、旅行の話までにならない。
タクシー運転手	販売量の動き	・地方都市の繁華街はかんこ鳥が鳴いており、夜間の流し営業は相変わらず苦戦している。
テーマパーク (職員)	お客様の様子	・飲食関係は安価なものが中心に好まれ、土産類については、売上が減少している。
ゴルフ場(従業員)	来客数の動き	・来場者は昨年並みである。
ゴルフ場(支配人)	来客数の動き	・秋のゴルフシーズンであるが、地元ゴルフ人口に対し、ゴルフコースが多く価格競争も激しいため、安定した集客が望めない。台風によるクローズも痛手である。
競輪場(職員)	お客様の様子	・入場者数、購買単価共に過少傾向にある。
美容室(経営者)	それ以外	・美容専門学校の願書提出の時期がすごく早まっており、手に職をつけたいなどの理由から、美容学校の生徒になりたい人が増えている。美容院の若い客は、化粧品にたくさんお金を使うが、子どもがいる主婦層や年金生活者は、美容料金を節約する傾向が見られる。
その他サービス [立体駐車場] (従業員)	単価の動き	・30分無料サービスを始めたために、来客数の堅調な伸びが続いている。しかし、無料時間内の出庫等が多く、売上に反映されていないため、単価も売上も横ばいで変わらない。
その他サービス [フィットネス クラブ](マネージャー)	競争相手の様子	・年末に掛けて、折込チラシなどの販促費を競合相手も自社も抑えている。野立看板などの契約の更新をせず、販促料を抑えてコストを削減している。
設計事務所(所長)	来客数の動き	・打合せ等が多く、忙しいが、受注がなかなか取れず、大変厳しい。
設計事務所(所長)	販売量の動き	・景気が上向きか、下向きかと問われたとき、今現在では上向きとは言えない。ただ先月以降仕事量が増え、忙しい。たまたま受注が重なっただけの事で景気が上向いたからと結論付けるには、早すぎる。

	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・状況にほとんど変化はなく、自己居住用物件は横ばいで推移しているものの、アパートや店舗等の収益性物件は厳しい。
やや悪く なっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・9月の大型連休の反動や、天候不順から季節のきこが不作で連休や週末の人出が少ない。
	商店街(代表者)	販売量の動き	・ランドセルの予約販売をしているが、昨年と比較すると20%減少している。
	商店街(代表者)	単価の動き	・昨年は値段が多少高いものでも良い物は売れていたが、今年は単価の低いものが出ている。
	商店街(代表者)	販売量の動き	・時折売行きの良い日もあるが続かず、その他の日は相変わらず閑散としている。月で締めればやはり下降している。
	一般小売店[青果](店長)	来客数の動き	・500メートルくらいのところに大型スーパーがオープンしたせいもあるが、来客数が極端に激減している。
	百貨店(総務担当)	単価の動き	・食品のセールは、原価割ればかりで、売上は確保が出来たが、粗利額は前年を下回っている。定価のギフトは前年は3~5千円が多かったが、2~3千円が中心となっており、単価もその分下がっている。唯一好評の菓子も箱物から袋物にギフト品としての買物が目立ってきたため、単価で100~200円低下している。
	スーパー(総務担当)	単価の動き	・商品単価が低下しており、特にパンツ、シャツ、肌着は中心プライスが大きく下落し、スーツ等の重衣料も下がっている。
	コンビニ(経営者)	来客数の動き	・すぐ近くにスーパーやディスカウントストアがあるため、女性客を呼び込めない。
	コンビニ(経営者)	来客数の動き	・コンビニは近隣のイベントや天気によって左右される。イベントが無く、天候も悪かったので、今月は来客数の動きがやや悪い。
	乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・販売量が減ってきている。
	乗用車販売店(管理担当)	来客数の動き	・エコカー減税により新車はやや上向きとなっているが、整備在庫車は減少している。他メーカーとの競争がし烈である。
	住関連専門店(開発業務責任者)	販売量の動き	・来客数も若干の減少傾向が見られ、買上単価が9割となっている。
	高級レストラン(店長)	販売量の動き	・ランチタイムのサラリーマンやOL客が激減している。コンビニやスーパー、弁当屋等の低価格商品に流れており、客の節約している様子がはっきり分かる。
	一般レストラン(経営者)	お客様の様子	・客単価が落ちている。宴会の内容に比べ安価に設定するものが多くなってきている。
一般レストラン(経営者)	来客数の動き	・高速道路料金引下げにより、遠出の機会が増えたせいも、家族客が極端に少ない。	
スナック(経営者)	来客数の動き	・本当に景気が悪い。これ以上悪くならないだろうと思っていたが、どんどん悪くなる。打つ手が無い。	
その他レジャー施設[アミューズメント](職員)	販売量の動き	・通常は来客数、客単価、時間帯にむらがあり、良いときもあれば悪いときもあるが、今月は来客数、客単価、時間帯、すべて微減で、極端な落ち込みが無いが、全体的に伸び悩んでいる。	
その他サービス[自動車整備業](経営者)	来客数の動き	・今月の車検入庫台数は先月よりさらに悪く、8%の減少となり、2年前の台数に戻りつつある。なかでも小型及び普通乗用車の落ち込みはひどく、前年比で21%落ち込んでいる。	
住宅販売会社(経営者)	お客様の様子	・客の問い合わせは非常に多いが将来への不安で借入等はちゅうちょしてしまっている。この不景気感が脱せないという状況にはならない。	
悪く なっている	百貨店(営業担当)	来客数の動き	・北海道物産展を始め、物産展はすごい勢いの売上を作っているが、なかなかそのシャワー効果が少ない。
	スーパー(経営企画担当)	単価の動き	・プライベートブランド商品等、単価の安い商品の売行きが伸びている。
	コンビニ(経営者)	お客様の様子	・土木、建築関係の客が減っているため、心配である。
	コンビニ(経営者)	来客数の動き	・最近、昼に飲食店でランチをする人が増えており、店の来客数がかなり減っている。
	衣料品専門店(経営者)	単価の動き	・衣料品のようなぜいたく品は全く売れなくなっている。特に、価格の高い物は売れない。

		衣料品専門店 (販売担当)	来客数の動き	・数か月前からその傾向はあったが、特に今月はクレジットカードの利用が極端に少なくなっている。 先の不安があるという表れかもしれない。
		スナック(経営者)	競争相手の様子	・とにかく周囲の同業者の数が多く、小遣い、給料も制限され、悪くなっている。
		旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・今月に入り、新型インフルエンザがまた流行し、旅行中止が数件発生している。
		旅行代理店(支店長)	販売量の動き	・今月は景気の後退によって、法人関係で団体の取消しが発生している。個人旅行においても、秋の行楽シーズンにもかかわらず、海外の出発が悪いのが大きな要因になっている。国内も手控えということで動きが鈍く、非常に厳しい販売量になっている。
		タクシー(経営者)	お客様の様子	・昼間の動きも夜の動きも悪く、特にシニアの動きが悪く、前年比18%減少している。
		住宅販売会社(経営者)	お客様の様子	・安い中古物件についてはちらほら引き合いもあるが、貸店舗、貸事務所については全く引き合いが無い。アパート、マンション等についても同じで、動き、引き合いが全く無い。
企業 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		金属製品製造業 (経営者)	取引先の様子	・10月は、例年受注は少ないが、親会社が欧米から大型風力発電装置100機の受注を受け、思わぬ関連受注が出始めている。
		一般機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・今月より自動車部品のスポット増産が始まり、担当部署では24時間体制で対応をしている。ただし、その他の分野の回復に力強さは感じられない。
		電気機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・メイン客先の新機種生産の量産が始まっている。
		輸送用機械器具製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・3か月前と比べて、3か月の見通しで直近が増え始めているところからすると、昨年や3か月前と比べても非常に増えてきており、上向いてきている。
		その他製造業 [環境機器] (経営者)	受注量や販売量の動き	・ものづくり中小企業製品開発等支援補助金の仕事が始まったため、受注が増加し、2010年3～5月まではかなり忙しくなる。また、その他の開発品の仕事も重なるので、段取り良く計画を実行したい。
		金融業(経営企画担当)	取引先の様子	・観光地は、10月上旬の中国建国60周年の長期休暇と思われる中国人観光客の増加でやや持ち直している。
	変わらない	食料品製造業 (製造担当)	受注量や販売量の動き	・とりわけ売上が伸びるわけではないが、現状を何とか維持できている。他業種の話の聞くと売上の2.3%の落ち込みならばまだ良く、50%は当たり前と聞いているので、食品はまだ良いが、安売り合戦で体力消耗は否めない。
		食料品製造業 (営業統括)	受注量や販売量の動き	・円高の傾向がしばらく続いており、低コストの輸入ワインに押されて、国産品の販売は昨年と比較し、大変苦戦している。
		窯業・土石製品製造業 (経営者)	取引先の様子	・特注品については例年の季節商品受注による動きがあるものの、店頭商品は依然として低推移である。
		金属製品製造業 (経営者)	取引先の様子	・取引先から仕事量が段々少なくなる予定表をもらっている。
		電気機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・短期的な受注は出てきたが、量産にはつながらず、いまだに不安定である。
		輸送用機械器具製造業 (経営者)	受注価格や販売価格の動き	・受注量、販売量の動き、取引先の様子共にこの3か月変わっていない。
		輸送業(営業担当)	取引先の様子	・昨年は米国の大手金融機関の破たんにより景気は低迷したが、今年はその分前年よりは多少輸送量が増えている。しかし価格競争もあり、荷主もプライベート商品の比率が上がり価格設定が低くなった分、運賃等も下げるようにと厳しいところもある。なかなか厳しい状況である、物量が増え、良い部分もある。
		金融業(調査担当)	取引先の様子	・景気指標の上では良くなっているが、実際にヒアリングすると数値上ほどの改善はみられず、底ばいの範囲内である。
		金融業(総務担当)	取引先の様子	・新規の大きい契約が獲得できたこともあるが、その一方で受注価格の見直しによる引下げ要請は相変わらず多いと、取引先が話している。

		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今月のチラシ出稿量は前年比97.3%と、27か月連続で前年を下回っている。先月までの90～92%くらいの数字から比べると上向いている感もあるが、食品関係以外は依然として低迷していると聞いている。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・建設業、建設関連業種は依然として受注等の業績が不振で、資金繰りに窮する状況はむしろ悪化している。衣料、飲食等の消費関連も全く振るわず、この分野の業種、企業も資金繰りがひっ迫している。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	取引先の様子	・取引先の一部に収益の改善がみられるものの、相変わらず厳しい。
やや悪くなっている		化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・メイン商品の受注は無い。雑務的な仕事を取って、人件費の足しにしており、赤字をただ減らしているだけである。
		不動産業（営業担当）	取引先の様子	・同業者が販売価格を下げている、他の同業者も厳しいと話している。期待している客からもこれから景気が悪いという話を聞いている。
		社会保険労務士	取引先の様子	・退職者が出た場合、介護や医療関係以外はいまだに人員の補充をしていない。
		司法書士	受注量や販売量の動き	・9月後半に少し良くなる感があったが、10月に入り少し後退している。
悪くなっている		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・相変わらず宝飾の売行きは落ちている。展示会をしても来客数は15%減少、売上も20%近く減少している。前年比30%減少が続く。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・9月決算では売上高は前年比98.4%と、公共工事削減の中、よく売上の確保が出来たと驚いている。ただ受注状況を分析すると相変わらず同額によるクジ引き受注であり、不安だらけの状況である。
		広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・広告料金の遅延が前年比2割増加している。3か月以上の未払いも増加傾向である。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・当所管内では有効求人数が239件と、前年比4.8%増加している。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・求人内容については大体変わらずサービス業、美容関係、介護職員等の求人は目立つが、製造関係はほとんど見当たらない。全般的にはまだまだ活発さに欠けている。幾分求人数は増えているようだが、周辺はまだ人が多く見られており、厳しい状況下で推移している。
		求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・依然として求人広告への掲載企業が少ない。介護事業、病院、遊技場などは多いが、サービス業のパートが多少あるくらいである。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・9月の新規求人数は前年比13.9%の減少となっており、回復の兆しが見られない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・9月の新規求人数は、前月より20%以上増加したが、前年比では減少が続いている。有効求人倍率は最低水準であるが、改善の気配が出始めている。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・大手企業を中心に受注増加の傾向が見られるが、新たに社員を採用するまでの状況には至っていない。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（管理担当）	雇用形態の様子	・派遣会社の雇用契約が2か月間ほどの短期契約になっている。
悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・広告の量がさらに減少傾向で、飲食店のスポンサーは壊滅状態である。	